

# 排水不良地におけるカンショ安定栽培技術の確立

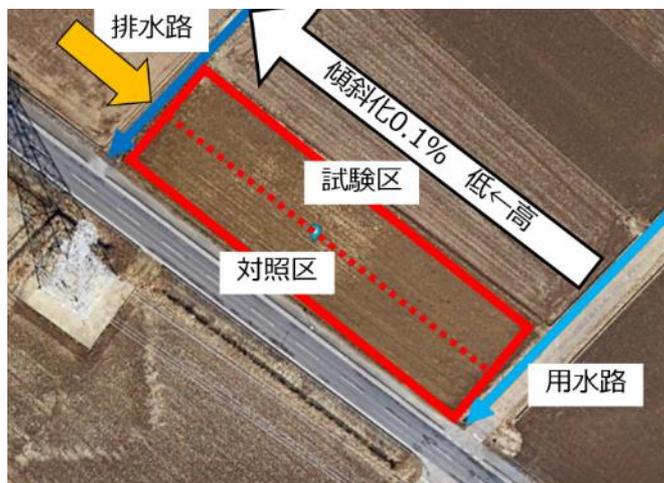
- ◆カンショ、干し芋の需要増を背景に、規模拡大を志向する干し芋経営体が増えている。
- ◆ひたちなか周辺ではカンショ栽培に適した畑の確保が年々難しくなっている。
- ◆陸田等でのカンショ栽培技術確立が求められている。

## 試験の目的

陸田等の排水不良地において、排水対策（額縁明渠、傾斜化、耕盤破碎）の効果を実証する



全体の位置



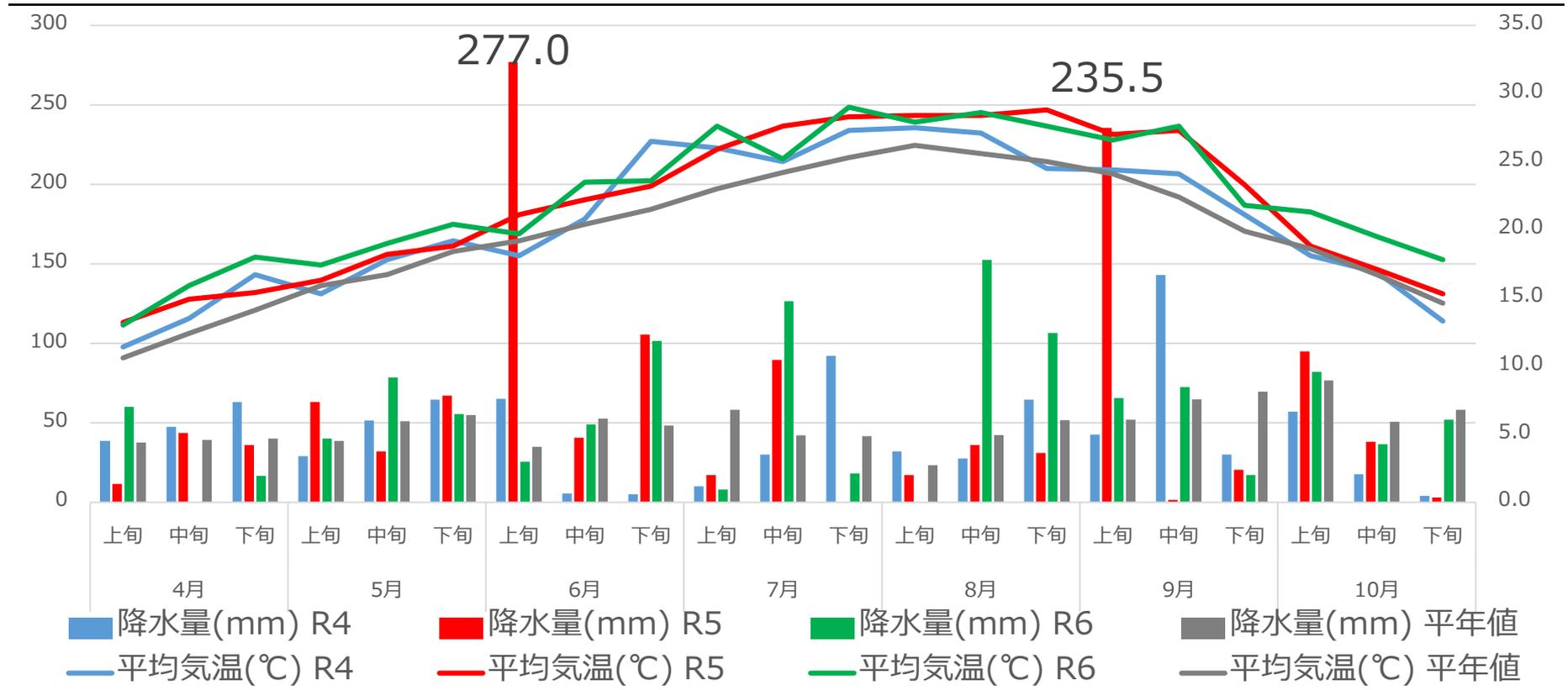
三反田水田転換畑



部田野水田

# 実証圃の排水対策及び気象条件

	額縁明渠	傾斜化 (レーザーレベラー)	耕盤破碎 (プラソイラ)
三反田試験区	○	○	○
三反田対照区	○	○	×
部田野水田	○	×	×



# R5台風2号(6/2~3)の被害状況

三反田



部田野



# R5台風13号(9/8~9)の被害状況

三反田



部田野



# R5収穫時の様子(9/19)

三反田



部田野



部田野では収穫前の冠水の影響で土中での腐敗が見られた(5%程度)

# 実証圃で有効だった排水対策



畝間から排水路までの  
溝切り



明渠と排水路を  
塩ビ管で接続

**→圃場に合わせた排水対策の実施が有効！**



# ほしいも食味試験結果

評価項目	三反田(転換畑)			部田野(水田)		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6
見た目	3.3	4.1	3.8	3.4	3.8	4.3
甘み	2.7	2.7	2.9	3.4	3.1	3.4
食感	2.2	2.4	2.6	3.5	2.9	3.5

普通畑のサンプルを基準(3)として、「見た目」・「甘み」及び「食感」の3項目を1(悪い)~5(良い)の5段階で評価

三反田(転換畑): 「食感」及び「甘み」はやや低い~同等であり、「見た目」は同等~良かった。

部田野(水田) : 全ての項目で同等~やや良い評価であった。

水田等で栽培したかんしょは形がやや悪いが、  
収量やほしいもの食味は  
畑と比べても遜色無いことを確認できた